No.68

岐阜日赤NEWS

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

発行日：2022 年 12 月　　発行責任者：林　昌俊　　編集：岐阜赤十字病院 地域医療連携センター

特　集　眼内レンズ強膜内固定

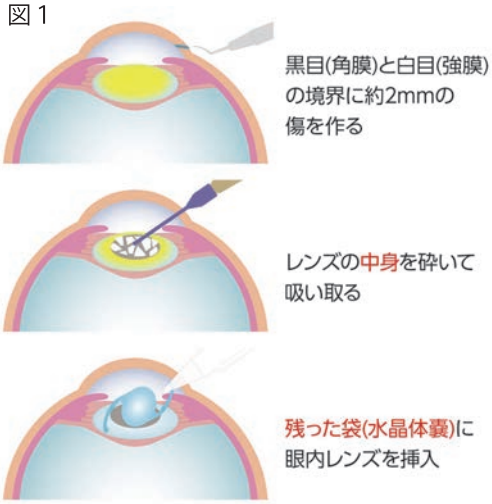
眼科部長：吉田　則彦

[眼内レンズ偏位とは?]

白内障とは、水晶体が濁ってしまう状態であり、外傷、遺伝などの原因もありますが、一般的には加齢性の変化で発症します。濁ったレンズのカメラで写真を撮るようなものなので、当然視力の低下を来たします。治療としては、水晶体を取り除き、その代用として人工レンズを目の中に固定させる手術が必要となりますが、近年、この白内障手術は、機械と技術の進歩により多くの方々が一般的に、安全に受けられる手術となりました。（図１）

眼内レンズの材質は安定性も高く、半永久的に使用できますが、残念ながら人間の体は半永久的とはいきません。水晶体嚢の中に眼内レンズを収めて固定させますが、その水晶体嚢を支えているチン小帯が経年変化とともに弱くなり、切れたりすると水晶体嚢の位置ずれが起こり、眼内レンズが偏位（図２）します。ものを見る際にピントが合わなくなり、とても見づらくなるのはこのためです。ずれた眼内レンズを取り出して、新たな眼内レンズを目の中に固定させなければなりません。

図１



[新しい強膜内固定用レンズとは?]

眼内レンズを支えるべき水晶体嚢がない状態で眼内レンズを固定させる方法として、眼内レンズのハプティクス（足）を強膜に固定させる術式（眼内レンズ強膜内固定術）が最近、普及し主流になりつつあります。これまで様々な術者が工夫を凝らし手術精度を上げてきましたが、眼内レンズは、そもそも強膜固内定術に対応するためにデザインされていません。また眼内レンズのデザイン変更には法律的に高いハードルが課せられますが、我々は、最小限の形状変更でそのハードルを回避しつつ、効果が得られるようなコンセプトを考案し、2014年に強膜内固定用として新しい眼内レンズを発表しました。その後、企業の協力を得て製品化に成功し、ヨーロッパ、本邦での承認・認可にこぎつけました。現在では実際の臨床で使用しています。形状の変更ポイントは、図３のように眼内レンズのハプティクス（足）の先端に返しをつけ掴みやすく、固定しやすく、そして安定した固定が得られるようした点で、その結果、従来の眼内レンズを使うよりも、よりはやく、より簡便に強膜内固定を行うことが可能となりました。つまり患者様にとってメリットになるような手術を提供できる、と考えております。眼内レンズを取り出し、あたらしいレンズを入れる必要がある場合には、当院でもしっかりと対応させていただいと思います。

図２

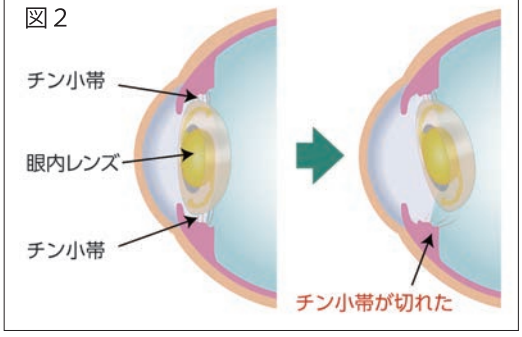


図３

チーム医療
team medicine

DST（認知症サポートチーム）

認知症サポートチームとは

病院に入院されるということは、心身の衰弱や苦痛に加え、日常住み慣れた生活環境とは違い、治療や検査によりさまざまな制限を強いられる環境となります。認知症の方においては、こうした環境によりせん妄(※)やBPSD（行動・心理症状）の出現につながることがあります。

医師・看護師・薬剤師・社会福祉士の専門スタッフが連携し、せん妄やBPSDの発症予防に努めます。また認知症の方、ご家族が少しでも安心し、治療を受けられるようにケアを提供しています。

※せん妄：一時的に意識が障害され、入院や治療をしている状況が分からなくなること

認知症サポートチームの主な活動

○チーム登録患者様、ご家族様のケアや相談、支援
○週1回の定期ラウンド
○院内研修、病棟ごとの研修
○チーム会議
○院内デイケア

定期ラウンド

院内デイケア

令和４年度日本赤十字社第３ブロック支部合同災害救護訓練に参加

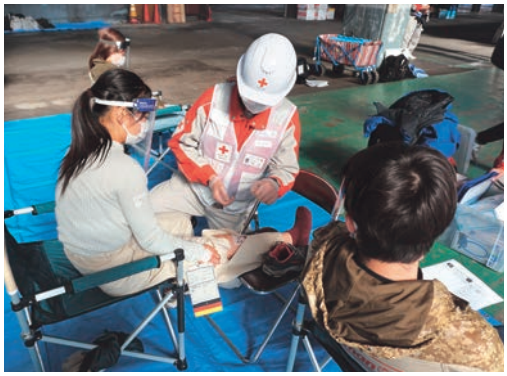
日本赤十字社第３ブロックでは、今後発生が予想される大規模災害に備え、過去の訓練や実災害での対応における検証から明らかになった問題点や課題を解消すべく、平時に円滑な活動ができることを目的に、長野県諏訪市で災害救護訓練が開催されました。

今回の訓練では、令和４年11月３日午前６時、糸魚川ー静岡構造線断層帯を震源とするマグニチュード7.9の地震が発生し、多数の負傷者が出ているとの想定により、岐阜赤十字病院から救護班１班が参加（出動）しました。救護班は、医師をチームリーダーとして、看護師、薬剤師、事務員等総勢７名で編成されておりそれぞれの役割の基に活動を実施しました。

諏訪赤十字病院に参集した当院救護班は、現地災害対策本部の指示により救護所において医師を中心として負傷者の救護活動にあたりました。負傷者の症状は様々で、実際の災害さながらに応急処置を実施しました。

日本赤十字社では、これから起こるであろう大規模な災害に対し、迅速に救護活動ができるよう訓練を実施し、職員の意識向上と備えを日々進めてまいります。

※日本赤十字社では、全国を６つのブロックに分け、第３ブロックは東海、北陸エリアの８県（富山、石川、福井、長野、愛知、岐阜、三重、静岡）をいいます。



医師紹介

2022年12月1日現在

出身は東京都ですが、ご縁があり、岐阜に参りました。日々精進いたしますので、よろしくお願いします。

なみき　けんじ
並木　賢二　外科医師

週三回午前の外来診療を行います。大学の先生方と連携して脳神経外科全般と認知症専門外来を担当致します。

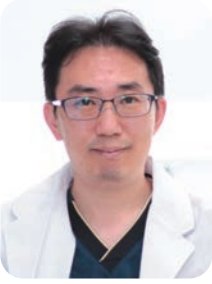
あらき　ゆうぞう
荒木　有三　脳神経外科医師

皆様に信頼していただけるよう、日々精進してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

たてやま　しょうだい
立山　翔大　総合内科リウマチ科医師

連携医療機関

溝口整形外科リハビリクリニック



院長　溝口　隆司

所在地	〒501-0235 瑞穂市十九条258-1 ☎ 058-260-7070　FAX.058-260-7072
診療科目	整形外科、リハビリテーション科 リウマチ科
休診日	水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	
午後4:00～ 7:00	●	●		●	●		

長年勤務させていただいた岐阜赤十字病院を退職し　令和４年10月に瑞穂市十九条にて溝口整形外科リハビリクリニックを開院いたしました。

専門分野である腰痛　頸部痛　上下肢の痛みしびれといった脊椎脊髄疾患だけでなく外傷、関節疾患、リウマチ、痛風など数多くの整形外科疾患に対応しております。また全身型骨密度測定装置を導入しており、正確な診断による骨粗鬆症の治療も力を入れております。今後も岐阜赤十字病院様と連携をとり、丁寧で質の高い　患者様に寄り添った医療を提供させていただき、地域の皆様が健康で充実した生活が送れるよう貢献していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

ふくた眼科クリニック

福田由美院長とスタッフ

所在地	〒501-0236 瑞穂市本田1018-1 ☎ 058-329-2037　FAX.058-329-2038
診療科目	眼科
休診日	水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	
午後3:30～ 6:30	●	●		●	●		

「ふくた眼科クリニック」は2006年７月、「福田内科医院」の東隣に開院しました。

地域の皆さんが安心して安全な医療を受けることが出来るように接遇にも力を入れておりますので、スタッフ一同日々患者さんに満足していただけるよう努力しております。

当クリニックでは、日帰り白内障手術の他、糖尿病、高血圧等、生活習慣病の患者さんに定期的な眼底検査をし、安心して生活していただけるようサポートいたします。内科と連携する事で、より幅広い地域医療に貢献していきたいと願っております。今後 ともよろしくお願いいたします。

● かかりつけのお医者さんの紹介状をお持ちください

かかりつけのお医者さんの紹介状がありますと、患者さまの病気の経緯や服薬の内容などがよく分かり、診察がスムーズに行えます。かかりつけのお医者さんをお持ちになりたい方は、当院医師から紹介させていただきますので、お気軽にお申し出ください。

紹介予約　**月～金曜日　午前９時～午後７時**

受付時間　**土曜日　　午前９時～午後０時30分**

紹介状をお持ちの方は地域医療連携センターにて予約を承っています

Mission statement

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

病院の理念

人道・博愛の赤十字精神のもとに、
人々の健康の回復や維持に寄与し、
地域や社会に貢献します。

病院の行動指針

1. 私たちは、安全で安心な医療を提供します。 S（Safety）
2. 私たちは、心のこもった態度でのぞみます。 H（Hospitality）
3. 私たちは、互いに敬意の念をあらわします。 R（Respect）

各種指定・認定
地域医療支援病院
岐阜県地域災害医療センター
岐阜県第１種感染症指定医療機関
岐阜県第２種感染症指定医療機関
岐阜県救急告示病院
岐阜市病院群輪番制指定病院
臨床研修病院
病院機能評価　3rdG：Ver.1.1
臨床研修評価

岐阜日赤NEWS第68号をお届けします。今回は、眼内レンズ強膜内固定について取り上げました。当院では、患者さまに、安心・安全で質の高い医療を提供する地域に根ざした病院を目指し、職員一同努力してまいります。

外来診療予定表

2022年12月1日現在

科名		月	火	水	木	金
内科一般（初診）		立山	川地(1.3週) 臼井(太)(2.4.5週)	長島	伊佐治(1.3.5週) 川地(2.4週)	臼井(太) 棚橋
総合内科・リウマチ科		―	―	立山	―	―
消化器内科		松下	安田	荒尾	松下 安田	寺倉
循環器内科		長島	八巻	八巻	長島	成瀬
腎臓内科		―	―	―	―	泉
呼吸器内科		―	天野	澤田(昌)	―	―
甲状腺・糖尿病内科		石森(初診紹介予約) 伊佐治 川地	石森 伊佐治(初診紹介予約) 中村(初診紹介予約)	川地 増田(輝)	石森 中村	石森(初診紹介予約) 伊佐治
血液内科		―	澤田(道)(初診紹介予約)	澤田(道)	―	―
外科 大腸肛門科	1診	丹羽	關野	關野	林	關野
	2診	高橋(啓)	丹羽	王	並木	高橋(啓)
	3診	―	林	―	―	―
精神科（完全予約制）		―	―	宮原	藤本	―
眼科（完全予約制）	1診	三田村	吉田	近藤	市川(翔)	三田村(月1.2回)
	2診	―	―	―	―	―
	3診	―	志賀	志賀	志賀	市川(翔)
整形外科（予約制）	初診	大橋	野々村	高木	臼井(大)	太田
	再診	―	高木	臼井(大)	大橋	―
	再診	太田	―	―	―	野々村
耳鼻咽喉科	1診	小塩(休診の場合有)	小塩	小塩	小塩	小塩
	2診	増田(祐)(9:00～)	増田(祐)(9:00～)	―	―	―
泌尿器科	1診	山口(茜)	三輪(1.2.3.5週)	竹内	三輪(1.2.4.5週) 菊地(3週)	竹内
	2診	―	竹内	山口(茜)(1.2.4.5週)	山口(茜)(～11:00)	非常勤医師(2.4週)
皮膚科		脇田	脇田	脇田	脇田	脇田
脳神経外科		大江	―	榎本	荒木	荒木
産婦人科（完全予約制）		永原	永原	永原	永原	永原
ウロギネ外来（完全予約制）		山口(昌)(1.3週) 増栄(2.4.5週)	山口(昌)(3週) 山口(茜)(1.2.4.5週)	三輪(1.2.3.5週) 山口(茜)(4週)	山口(昌)(1.5週) 菊地(2.4週)	山口(茜)(1.3.5週) 非常勤医師(2.4週)
放射線科		富松・後藤(地域連携予約)	富松・後藤(地域連携予約)	後藤(地域連携予約)	富松	富松・後藤(地域連携予約)
麻酔科		―	山田	―	―	―

≪専門外来≫　完全予約制
妊娠糖尿病外来：金曜日
児童精神外来：木曜日（月2～3回）

≪午後≫
小児科：火曜日（13:30～16:30）

● 各診療日の担当医師につきましては、学会等により代診・休診とさせていただく場合がございます。

所在地　〒502-8511　岐阜市岩倉町3丁目36番地
TEL　058-231-2266
FAX　058-233-7772
休日・夜間用FAX　058-231-3132
地域連携課FAX　058-231-3026
ホームページ　http://www.gifu-med.jrc.or.jp/
E-mail　info@gifu-med.jrc.or.jp

受付時間　午前8:30～11:00　※再来受付機は8:15～（午後は予約制）
休診日　土曜・日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）・創立記念日（5/1）
※ 救急の場合はこの限りではありません。